目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54	施設備え付けベッドが、現在介護用ベッドではない為高さがあり、手すり等ない為転倒の転落の危険性がある。介護用ベッドは御家族に福祉用具などでレンタルをしてもらっている。	事故の危険性が有る為、備品ベッドや手すりなどの福祉用具を設置する。	利用者個人のベッド使用時の状態の把握を行い、事故のリスク軽減を行えるように職員で話し合い、必要に応じて備品の整備を行っていく。	6ヶ月
2	35	水害時の避難が施設二階部分になっていて、避難の際には外へ出て階段を上がないといけない。	利用者に心身の負担軽減の為、迅速に非難できる体制づくりを行う。	施設職員だけでは避難誘導に限界が有る為、系列職員の協力体制を築き、利用者の方の避難時に見慣れない職員の誘導や避難の理解が出来ず不穏不安にならない様、系列職員も含めての避難訓練の実施を定期的に行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。